

平成 19 年 4 月 2 日

各 位

熊本県熊本市南熊本三丁目 1 4 番 3 号  
株式会社トランスジェニック  
代表取締役社長 是石 匡宏  
(コード番号 2342 東証マザーズ)  
(連絡先) IR・広報担当 森田 貴子  
電話番号 078-306-0590

### 「リプロダクティブ・テクノロジー研修センター」開設のお知らせ

当社は、当社神戸研究所内に「リプロダクティブ・テクノロジー研修センター」を開設し、生殖補助医療従事者や実験動物関連技術者を対象とした研修を開始しましたので、お知らせいたします。

当社は、熊本大学 生命資源研究・支援センターからの技術指導を受け、遺伝子破壊マウス事業を行ってまいりました。これに伴い、生殖工学領域の技術・ノウハウを蓄積し、当社研究員の技術習得・習熟のための社内教育システムを有しております。

神戸研究所は、当社の「先端技術導入・技術向上のためのテクニカルセンター」であり、この度の研修センターの開設は、上記の社内教育システムを活用し、当社の技術・ノウハウを広く社外の方々に提供することを目的としております。

当研修センターの概要は以下の通りです。

研修内容	: 生殖補助医療分野および実験動物関連分野に応用可能な生殖工学技術
主な対象	: 1. 生殖補助医療従事者 医師、胚培養士、看護師、臨床検査技師 等 2. 実験動物関連技術者 研究者、学生、技術者 等 3. その他 関連機器等の開発担当者 等
場所	: 当社神戸研究所

当社が保有する生殖工学関連の技術は、実験動物・産業動物分野のみならず、生殖補助医療分野への応用が可能です。日本国内においては、およそ 28 万人が不妊治療を受けているとされ、医師をサポートし、精子・卵子や胚を取り扱う生殖補助医療胚培養士（エンブリオロジスト）には、高い技術レベルが求められております。

当研修センターの開設にあたっては、生殖補助医療分野および実験動物分野の専門家のご助言をいただきました。今後も、このような専門家のご指導を仰ぎながら、研修内容の充実を図ってまいります。

当社は、遺伝子破壊マウス事業を通して、当社の技術・サービスを創薬探索分野に提供しておりますが、今回開設した「リプロダクティブ・テクノロジー研修センター」により、新たに生殖補助医療分野、実験動物分野、産業動物分野の発展にも貢献してまいります。

なお、現時点においては、本件が当社の業績に及ぼす影響は、未定であります。

研修センターの詳細はこちらをご覧ください。 <http://www.transgenic.co.jp/jp/training/>

以上